



時計台

小林市立永久津小学校 校長通信

令和8年2月10日

第72号

(文責 校長 吉井秀一)

TEL: (0984) 23-3515 E-mail:nagakutukko@miyazaki-c.ed.jp

一月、6年生は宮崎の戦争の歴史について、講師の先生をお呼びして学習する機会がありました。

先生によると、終戦間際、宮崎市に疎開していた子どもたちが永久津に移って生活した記録(永久津小の日誌の一部)が、沖繩の博物館に残っているとのことでした。私も以前、子どもたちに小林市の学童疎開の話をしました。が、永久津に疎開した記録を見たことはありませんでした。今まで知ることのなかった歴史の一端に触れ、改めて本校の伝統の奥深さを感じました。

一五〇年以上の歴史を歩んできた本校は、あと一か月ほどで、また、大切な一年を終えようとしています。

子どもたちはもちろん、私たち教員も、しっかりと本年度の締めくくりを迎えたいと思います。

まちで見かけた「大人」たち

これまでこの通信では「まち」しかし、そこにカート置き場で見かけた子どもたち」を取りだけでなく、空のカートが照明の上げたことがあります。今回、柱に隠れるようにポツンと残り取り上げるのは「大人」です。されているだけでした。

夫婦二人生活の私は、年末年始だからと遠出をすることもありませんが、それでも賑わいを感じようと、いつもより人出の多いまちに足を運びました。まずは買い物でにぎわうスーパーの駐車場で見かけた方。メニューを選んでいました。

私も年齢は上だと思われる上品そうなご婦人です。駐車場も混んでおり、私も入口から一番遠い場所に停めることになりました。私が駐車を完了したころ、ご婦人は買った品物を車に積み終えたところでした。

するとそのご婦人、空になった買い物カートを押してこちらへ向かって来られるのです。「ああ、この奥にもカート置き場があるのか。」と思い、私も帰りにそこに返そうと置き場を確かめることにしました。

「なんでそんな食べ方しちゃうとよ！いいかげんにしろ。」「早よ食べんかっ！どんだけ人に迷惑かけちゃうとよ。」「まあまあ、ポリウムで荒い言葉を繰り返して浴びているのは、年中さんぐらいの男の子。当然ベそをかいています。私にはバコバコと子どもの頭を殴りつけている姿を見せられていたような感覚でした。」

「まあまあ、迷惑ってものから困りのようです。誰に似たのかね。ところで、どなたのお子さんですか？」

「以前放送された「スカツ」とする番組の老人のように、相手をハツとさせる一言を言う勇気があればとモヤモヤしました。」

このお話は、大人の事情や背景を全く理解していない私の個人的な印象によるもので、さして次は、気分を晴れ晴れとさせてくれる大人に出会いたいものです。

家族のお母さんです。

「なんでそんな食べ方しちゃうとよ！いいかげんにしろ。」「早よ食べんかっ！どんだけ人に迷惑かけちゃうとよ。」「まあまあ、ポリウムで荒い言葉を繰り返して浴びているのは、年中さんぐらいの男の子。当然ベそをかいています。私にはバコバコと子どもの頭を殴りつけている姿を見せられていたような感覚でした。」

「時計」を見る

1月末に、子どもたちには、毎日の生活時間を学校で記録してもらいました。「時間」を意識する(時計を見る)ことは、よりよい生活習慣を身に付けるために大切です。本日、記録を持ち帰らせますので、ご家族でも時間の使い方について話し合う機会をもちましょう。

学校近況スナップ

「永久井野川散策 3・4年」



1月15日(木)永久井野川に3・4年生が自然観察に出かけました。はじめて訪れる子もいたようです。先輩たちは、ここで泳ぎを習得したとか…。身近にある豊かな自然をいつまでも大切にしたいですね。



「卒業生から寄付をいただきました」

平成10年度卒業生の皆さんから学校に寄付をいただきました。前夜は恒例の「餅勧進」ですっかり厄を払われたとのこと。子どもたちのために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



日頃の子どもたちの様子やお知らせ、行事の計画などは学校HPも見てくださいね。
(URL) <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1408/>